



国際交流ひろば

4

月号

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS

VOL. 255/ April 2022

鹿児島県国際交流協会 HP・FB・国際交流プラザで
こんな情報が手に入ります！

01 留学生のための生活ハンドブック

このガイドブックは、鹿児島で新たに生活を始める留学生をはじめとした外国人の方々に、少しでも鹿児島での生活に慣れてもらえるように作成しました。ぜひ参考にしてください。



にほんご	English	中文	한국어	Tiếng Việt

02 外国人住民のための防災ハンドブック

これは、災害の準備と対応についてかかれています。また、避難所等で使われる言葉を多言語でまとめた「多言語表示シート・指さしボード」(やさしい日本語・英語・ベトナム語・中国語・ポルトガル語対応)も当協会のホームページ上に掲載してあります。災害への備えや避難所運営等にご利用ください。



ハンドブック	表示シート

03 情報誌「国際交流ひろば」「暖流」「South Wing」

「国際交流ひろば」では、当協会主催事業や他国際交流団体の行事等について、また、在住外国人のインタビューやJICAデスク鹿児島に関する情報も掲載しています。

『暖流 (日本語版)』『South Wing (English版)』では、協会の事業報告をしています。ぜひご利用ください。



04 留学・ワーキングホリデー情報

国際交流プラザでは、留学・ワーホリ関連の情報誌が閲覧できる他、無料の冊子もございます。

その他異文化理解、国際協力、語学関連の書籍も揃えています。お気軽にご利用ください。(貸出はできません)



令和4年度から「国際交流ひろば」がリニューアルされます！

発行間隔やページ数を変更し、内容をさらに充実させます。

イベント情報や在住外国人のインタビューはそのままに、

その他、海外在住鹿児島県人からの海外情報などもお届け予定です！お楽しみに！！

● 外国語・文化講座等の開催

本県 CIR や在住外国人が講師となり、出身国等を紹介する講座を開催します。

また、令和4年度は、日中国交正常化50周年、アルゼンチン鹿児島県人会創立110周年、パラグアイ県人会60周年を迎えるための周年行事を予定しています。

● 英語絵本の読みかたり講座

本県 CIR が講師となり、県内の子ども達に幼少期から英語に触れる機会を提供します。鹿児島市内のみならず、県内各地で開催予定です。

《その他の事業》

- ・国際交流プラザの運営
- ・広報出版活動の充実
- ・国際理解プログラム事業の実施
- ・民族衣装等の整備・貸出

国際理解
の
推進

(公財)

鹿児島県国際交流協会

令和4年度 事業紹介

《その他の事業》

- ・外国人総合相談窓口の運営
- ・日本語スピーチコンテストの開催
- ・「おしゃべりひろば」の開催

多文化共生
社会の
展開

国際協力
の
推進

《その他の事業》

- ・(独)国際協力機構(JICA)との連携
- ・在外県人会への情報提供及び活動支援

● 鹿児島・全羅北道文化交流事業

鹿児島県との友好交流都市である韓国全羅北道とは、毎年度文化交流事業を実施しています。令和4年度は、鹿児島で全羅北道の方々を受け入れ、全羅北道について紹介してもらい、そして韓国の伝統工芸品を作成するワークショップを開催する予定です。

● 国際交流ボランティア制度の拡充

当協会では、語学ボランティアやホストファミリーボランティア登録者を随時募集しています。また、ボランティア登録者のスキルアップ研修の実施も予定しています。

《その他の事業》

- ・地域の国際交流活動への協力・参加
- ・国際交流組織との連携・支援

● 「災害時に助け合えるまち」づくり事業

地方に居住する在住外国人が地域の災害対策や防災について学び、在住外国人をサポートする地域住民が災害時に情報提供手段として利用できる「やさしい日本語」について学ぶ講座を開催します。

● 留学生(専門学校等)緊急生活支援事業

県内に居住する留学生(専門学校及び各種学校)等が行う新型コロナウイルス感染症防止対策に対して必要な経費の支援を行います。

また、従来どおり、留学生へのその他の支援事業も実施します。

● 鹿児島県青少年国際協力体験事業の実施

県内の中高生を開発途上国へ派遣し、青年海外協力隊の活動現場視察やホームステイなどの交流を通して、国際協力に対する理解を深め国際性豊かな人材の育成を図ることを目的に実施します。

● 在住外国人のための日本語・日本理解講座

県内の在住外国人を対象に日本語や生活情報等の研修や、鹿児島での生活の充実とコミュニケーションの円滑を目指す講座を開催します。

「Kagoshima で暮らして」

鹿児島県の在住外国人の数は、年々増加傾向にあります。『国際交流ひろば』では、鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等についてご紹介しています。今回は、昨年12月に来日したばかりの イギリス出身 鹿児島県国際交流員の パーフォード ポピー さん にお話をうかがいました。



鹿児島県国際交流員
パーフォード ポピー さん

とても素敵なお名前ですね。名前の由来はありますか？

—はい、私の名前は父が名付けてくれたもので、花の名前に由来しています。父は、平和への願いを込めてこの名前をつけてくれたそうです。

ポピーさんのご家族を紹介してください。

—私は4人家族で、父、母、姉がいます。

父方の両親は、フランス出身でイギリスに渡ってきた後、父が生まれました。父が幼い頃は、家庭では両親の母国語であるフランス語で過ごしたため、英語に慣れるのにとっても苦労したそうです。

私の母は、ニュージーランド出身で、20歳の時にイギリスに渡ってきたそうです。私自身はイギリスの東ロンドンの生まれです。子どもの頃には、毎年のようにニュージーランドにいる祖父母に会いに行っていました。そのニュージーランドに、今姉が住んでいます。

生まれ育った街について教えてください。

—東ロンドンには、もともと労働者階級の多い街として知られていましたが、30年程前に多くの芸術家や歌手が移り住むようになりました。今ではアートやファッションなどが盛んでオシャレな街として人気です。世界的にも有名なバンクシーのグラフィティアートも見れますよ。私の大好きな街です。

毎週日曜日には「コロンビア・ロード・フラワーマーケット」という花のマーケットがあり、イギリス国内で最も古いマーケットの一つです。色とりどりの花が並び、とても良い香りがします。花以外にも食べ物や古着、雑貨などのお店があって、賑やかで楽しい場所です。家族で毎週のように行っていましたね。最近では、観光地としても有名なんですよ。イギリスに行ったらぜひ行ってみてください。あとは、イングリッシュブレックファストもおすすめです。ソーセージ、ベーコン、卵料理、ベイクドビーンズ、トースト、ブラックプディング、焼きトマトなどがお皿に盛られ、とてもボリュームのある朝ご飯です。イギリスでは、友人とパブで飲んで、翌朝一緒にカフェに行く人が多いんです。その時にこの朝食を食べたりしますね。私も二日酔いの朝に友人とよく食べに行っていました(笑)。帰国したら真っ先に食べにいきます。

日本との出会いを教えてください。

—一番最初に日本に来たのは15歳の時でした。ニュージーランドにいる祖父母を訪ねる途中、乗り換えのために1週間ほど滞在しました。その時は夏で、とにかく「暑い」という印象が強かったですね。

湿気で私の髪は雲のように膨らんでしまいました(笑)。この時には、その後日本語を学ぶことになるとは思ってもみませんでした。

日本語を学ぶきっかけは、高校時代のアニメ好きの友達です。その子に誘われて、日本の国際交流基金が学校で開いていた日本語・文化講座を受けてからです。それまではあまり日本に興味がなく、スタジオジブリが日本のものだという事すら知らなかったんです(笑)。もともとロックの音楽が好きで、講座で日本のロックを紹介してもらい、日本が大好きになりました。日本のシューゲイザーバンドのグループの人達はとても上手なんです!特に、キノコ帝国というバンドが大好きでライブにも行きたかったんですけど、残念ながらもう解散してしまったんです。

その後、大学で日本語を専攻し、大学3年生の時には大阪大学への留学も経験しました。大阪は、すごく賑やかで、色んな人が気軽に話しかけてくれました。ただ関西弁があまり理解できずちょっと困りましたね。でも、鹿児島弁はもっとわかりません(笑)。留学は1年間の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で半年間でした。大学では、読み書きの授業が中心で、話すことに苦手意識があったので「もっと日本語を学びたい、日本に行きたい」という思いから国際交流員を志望しました。

鹿児島での生活はいかがですか？

—現在来鹿して4ヶ月程経ちますが、とても住みやすいと思います。夜に出かけても安全なので、いつでもコンビニに行けます。また、みなさん親切です。来たばかりの頃に市電に乗ったのですが、チャージしたお金が足りず困っていたら、運転手さんがやさしく対応してくれたのを覚えています。

ただ、鹿児島で生活していても紅茶を飲む習慣は変わりません。イギリス人は紅茶好きと言われますが、私も大好きです。なかでもPG tipsの紅茶がお気に入りです。イギリスではとても定番の紅茶です。それをイギリスから100個も持ってきました。アフタヌーンティーの時間や仕事の後に飲んでホッとした気持ちになっています。

鹿児島にいる間にしてみたいことはありますか？

—屋久島に行ってみたいです。小さい時に「もののけ姫」を見たのですが、そのモデルになった場所なんですよ。すごく美しいところだと思って、直接見てみたいです。

県民のみなさんへメッセージをお願いします。

—新型コロナの影響で、皆さんと会う機会がなかなかありませんが、この期間に鹿児島の皆さんの役に立てるよう力をつけていきたいと思っています。英語やイギリスに関する事で質問があればいつでも聞いてください。



ランチタイムイングリッシュの様子



JICA デスク鹿児島からのお知らせ！

＼かごんま在住隊員／

これまでに世界98カ国、5万人以上の JICA 海外協力隊員が派遣されました。今回は、2019 年度 2 次隊として、ミクロネシアに派遣されていた板津彩虹さんをご紹介します！【職種：栄養士】



【ミクロネシア】
水色は太平洋を、4つの星は
主要な諸島を表している。

人口：52 万人 面積：3307 km² 首都：パリキール
言語：英語、ミクロネシア諸語



私は 2019 年度 2 次隊栄養士として、大洋州の島国であるミクロネシア連邦の保健省公衆衛生局に派遣されました。要請内容は、食生活ガイドラインの策定及び非感染性疾患の予防啓発でした。2019 年の調査研究によると、18 歳以上の島民 77%が過体重又は肥満であり、生活習慣病は国の社会問題となっていました。島に栄養士は一人もいないことから、栄養教育は殆ど行われていませんでした。

私は病院や地域の診療所を巡回して栄養相談から始めましたが、患者さんは一日に 1～10 人しか来ません。そこで、私は同僚と一緒に島の全高校の生徒 2,454 人を対象に健康診断とリスク要因調査を行い学校で食育をしました。周りの人々の協力により WHO の僻地訪問医療にも同行することになり、私は村に宿泊しながら食生活実態調査を行い、地域の生活に合わせた食育教材を開発しました。コロナ禍で任期途中の帰国となりましたが、現在は鹿児島県三島村教育委員会で離島の栄養教諭として働いています。今後は協力隊経験を生かして、日本の離島の食育推進にも貢献していきたいです。

JICA デスク鹿児島 担当:飯屋

TEL:099-221-6624 (公財)鹿児島県国際交流協会内



がいこくじん そうごう そうだん まどぐち 外国人総合相談窓口

かごしま す がいこくじん かた そうだんまどぐち
鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活、在留資格、労働、医療、福祉などで困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

たいおうげんご にほんご えいご ちゆうごくご かんこくご
対応言語：日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/
タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/
タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/
フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語/
シンハラ語/ヒンディー語/ベンガル語

かごしまけんこくさいこうりゆうきょうかい
鹿児島県国際交流協会内
TEL：070-7662-4541
E-mail：kiasoudan@gmail.com



Facebook



← 天文館方面 霧島方面 →
本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会
(火曜～日曜 9:00～17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

かごしま県民交流センター1階

Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643

URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>

Email: kia@kiaweb.or.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも毎月掲載しています。ご自由にダウンロードしてください。